

第29回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナーを開催しました！

平成30年10月18日（木）～19日（金）の2日間にわたり、山口市湯田温泉の「ホテルかめ福」において、第29回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナーを開催し、約280名の御参加をいただきました。

【開会式の様子】



～開会挨拶を行う山口県社会福祉法人経営者協議会 内田 芳明 会長～



福祉法人をめぐる

～来賓祝辞 山口県知事 村岡 嗣政 様～



～来賓祝辞 山口市長 渡辺 純忠 様～

【特別講演①】

『「活みなぎる山口県」の実現に向けて』と題して、山口県知事 村岡 嗣政様に特別講演を行っていただきました。



【特別講演②】

「ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」と題して、旭酒造株式会社 桜井 博志様に特別講演を行っていただきました。



【基調報告】

「社会福祉法人をめぐる動向と経営協の役割」と題して、全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格様に特別講演を行っていただきました。



【次回開催県挨拶】

次回開催県の香川県社会福祉法人経営者協議会 会長 川西 基雄様より、次回開催県挨拶を行っていただきました。

来年度の同セミナーは、11月21日～22日の2日間で開催されます。

来年度は香川県でお会いいたしましょう！



【交流会】

1日目の最後は、交流会が行われました。来賓及び助言者の皆様にも御出席いただき、総勢172名の参加のもと、大いに交流が深まり大変盛り上がりました。



また、交流会アトラクションとして、山口県の伝統芸能の『鷺流狂言』を御披露いただきました。

鷺流は、江戸時代、徳川幕府お抱え狂言方の筆頭として大蔵流とともに栄えました。

しかし、明治維新後、家元を存続できず、明治中期に流儀としては滅んでしまいました。

山口で鷺流が伝わっているのは、萩藩お抱え狂言方であった春日庄作（しゅんにちしょうさく）が明治期に山口市に移り住み、町衆に教えたことがはじまりです。

それから約130年間幾多の困難を乗り越え、山口県無形文化財の第一号に指定され、今日に至っています。



【分科会】

第2日目は、分科会発表を行いました。第1分科会「人材確保・育成」、第2分科会 AB「地域共生社会の実現に向けた地域公益活動」、第3分科会「災害支援体制の構築」をテーマに、中国・四国各県の社会福祉法人から事例発表を行っていただき、参加者の皆様も熱心に聞いておられました。



御参加いただきました皆様をはじめ、運営に御協力いただきましたスタッフの皆様、ありがとうございました。